

甲南大学法科大学院入学試験問題について

－ 2017 年度一般入学試験（後期募集・2月18日分）－

試験科目：刑法

1. 出題趣旨

①最決平成 20・5・20 刑集 62-6-1786、②最決平成 20・6・25 刑集 62-6-1859、③最決平成 6・12・6 刑集 48-8-509 等、正当防衛や共犯に関する重要判例を素材に、刑法総論の基礎知識のみならず、具体的な事実関係を分析してそれに法規範を適用する能力及び論理的思考力・論述力を試すものである。

2. 採点実感

問題文に表れた事実がいかなる構成要件要素の該当性判断に関係があると考えているかについての一応の記述はみられるものの、事実と構成要件ないし適用条文の文言とを架橋する評価が全くなされていない答案や、法的问题点の抽出に当たり、いかなる事実がどのような文言との関係で当該問題を提起するのかについての記述が不明確な答案、各論点の相互関係に関する理解が正確とはいえない答案などが散見された。

3. 学習方法

判例については、判示部分だけでなく、事案も丁寧に読み、両者をセットで理解する必要がある。また、重要事項については、教科書及び条文を確認しながら、具体例に即して説明できるようにすることが望ましい。